



2016-17年度
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

Weekly Report Niigata



2016-17 年度
国際ロータリーのテーマ



2016～17 年度
新潟ロータリークラブ会長
宇尾野 隆

新潟 RC9月第 3例会 (2016.9.20) No.3151

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 宇尾野 隆会長挨拶

ロータリーの先駆者

本日は、卓話の講師として、ロータリーの友編集長の二神典子さんをお招きしております。後程、ご紹介をさせていただきますと思います。

11月5日・6日の地区大会に友好クラブ前橋 RC 曾我隆一さんが RI 会長代理として出席されます。是非、多くの皆さんの出席をお願いします。

先週は、ロータリーの創設者であるポール・ハリスさんのお話をさせていただきました。

今日は、ポール・ハリスと共にロータリーの創成期を支えた4人の先駆者をご紹介します。

先週もお話した通り、1905年2月23日の最初の例会に参加したのが、シルヴェスター・シール、ハライム・ショーレー、ガスターバス・ローアでありました。そこに第2回目の会合より参加したのが、印刷屋のハリー・ラグレスという人物で「第5のロータリアン」と呼ばれています。その他に、不動産業のウィリアム・ジェンセン、楽器製造業のアルバート・ホワイトが2回目の会合に参加しています。

3回目の会合を経て、会長に、石炭商のシルヴェスター・シール、記録担当幹事にハライム・ショーレー、連絡幹事にウィリアム・ジェンセン、会計にハリー・ラグレスという体制が決まり、シカゴ RC はスタートしたわけでありました。

この先駆者の一人、鉱山技師ガスターバス・ローアは、イリノイ州カーリンビル生まれで、ロータリアンだった期間はわずか数年で、クラブでも、国際ロータリーでも役職につくことはありませんでしたが、彼の事務所はシカゴ中心部のユニティ・ビル711号室で、ロータリーの最初の例会が開かれた記念の部屋であります。1980年、ロータリー創立75周年のときに、その部屋は当時と同じ状態に再現されました。そして、1989年にユニティ・ビルが取り壊されるときに、ロータリアンの手によって、家具調度品とともに保存され、1994年に RI 本部が、エヴァンストンに移された際に、この部屋は、そっくり RI 本部内に移築さ

れ、再現されました。今でも訪れることができるそうです。

ローアは、ドイツ系移民で個性的な人物であり、言葉は機械統のように速く鋭く、命令的で威圧的な態度の反面、どこか親しみやすい人だったそうです。

次に、ハライム・ショーレーは、メイン州から移住してきましたが、大都会シカゴの生活には馴染めず、心は終始、故郷から離れなかったようです。

印刷屋のハリー・ラグレスは、ミシガン州の農家の出身で、印刷屋でアルバイトをしながら、ノースウェスタン大学を卒業し、堅実なビジネスで印刷会社を創立した人物です。

彼は、シカゴの貧困と絶望的な状況に非常に心を痛めていたとされ、後にクラブ会長として活躍します。また、シカゴクラブで親睦、互惠派と奉仕・拡大派の論争が起こったとき、例会で、歌を歌うことを提唱し雰囲気や和らげるよう努めました。これが、ロータリーソングのはじまりであります。

最後に、シカゴクラブ初代会長となったシルヴェスター・シールですが、1945年に国際ロータリーの3代目財務長を務めました。彼はインディアナ州の貧しい農家に生まれ育ちました。そのため、身体障害児救済事業、慈善事業に熱心な人物であり、天性的な親切な性格から自らの会社の従業員はじめ、周りの人に強く慕われる徳のある人物でありました。

また、これまで話をしてきた4人の中で、ハリスと特別に親しい関係にあったのが、シールであります。後に、巨大化したロータリーの組織の中で、ハリスが唯一胸襟を開いて話し合えたのがシールだったとされています。

ハリスとシールは、同じシカゴ南部のサウスサイドというエリアに住み、近所であったのでお互いの家を頻りに往復する間柄だったといえます。

ポール・ハリスの墓は、シカゴ郊外のマウントホープ墓地にあり、地元の RC が管理していますが、ハリスの墓の隣りにシールの墓があります。2人は生前のままの関係のように、墓も隣り合って位置するようにあらかじめ用意していたようであります。現在、122万人の会員を有する私たちのロータリーは、この5人の仲間の集まりから、第1歩を踏み出したということでもあります。

本日は、ロータリーの創成期に、ポール・ハリスと共に活躍したロータリーの先駆者をご紹介します。

(3) ロータリーの友紹介（町田智雑誌副委員長）

(4) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表（新田幸壽委員）

若杉 武君 新田 幸壽君

青少年育成基金寄付発表（五十嵐幸雄委員長）

五十嵐幸雄君

(5) ニコニコボックス紹介（伴 昭彦委員）

・宇尾野 隆君 ロータリーの友編集長 二神さんをお迎えして、ニコニコします。

・本間 彊君 今日はピアニストの濱田道子さんに感謝したいと思います。演奏してくださったカスケーズの「悲しき雨音」は、私が高校生の頃大ヒットした曲です。50年ぶりに大変なつかしく聴かせて頂きました。濱田さん、ありがとうございました。

・石橋 正利君 職場や家族を幸せにしたいと本を出版させて頂きました。社会のお役に立つことにニコニコさせてもらいます。

(6) 幹事報告（内田 直紀幹事）

・ロータリーの友英語版 一部500円が11月に発行されます。購読ご希望の方は事務局へお申込み願います。

(7) 卓話「ロータリーの友を楽しみましょう」

ロータリーの友編集長 二神 典子 氏



(8) 9月20日例会の出席率 75.79%

会員数98名（出席免除会員 8名）

出席者72名（出席免除会員5名を含む）

（2週間前メーク後 89.48%）

10月4日の例会予定

米山月間に因む話

小林 敬直米山奨学委員長

宇尾野 隆地区米山奨学生選考委員

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

9月11日に実施した「あしなが事業」の写真

会場 新潟市南区大郷 中村観光果樹園



果樹園の方より、葡萄は黒いもの、梨は大きい色付きの良いものが、美味しいと教えて頂きました。



高い場所にある、美味しそうな葡萄や梨は、会員にお手伝いしてもらい、摘みました。

